

魅力づくり活動日記

「地域おこし協力隊」玉利 容子 さん

■問合せ 観光商工課 ☎72-6918

情報をつなぎ、新たな挑戦を応援します

昨年7月から地域おこし協力隊として「空き店舗活用」と「創業支援」を担当して活動しています。

この数カ月は、那須町の空き店舗や創業に関する現状を知るため、町内各所を訪問し、情報収集を行いました。また、空き店舗の活用において、店舗物件の所有者や不動産事業者のお話を聞き、対象物件の現地調査を実施しています。町ホームページ「空き店舗バンク」を開設し物件情報の流



ラジオにも出演しました

通も目指しています。

また、今年1月には「空き家・空き店舗セミナー&個別相談会」を開催し、物件所有者向けに、管理や活用方法の紹介をしました。

さらに、創業支援については、すでに町内で事業を開始している方や、商工会、金融機関などと連携し、空き店舗バンクの利用希望者や、移住創業を検討している方の相談に応じています。相談者の状況や創業計画を丁寧に聞きとり、那須町での創業が実現できるよう、相談者に応じたサポートを行っています。

今後も、地域の現状を把握し、商業活動の活性化につながるよう、取り組みます。

短歌

ステージ4 堆して開かん写真展
懐かし会津と 那須の思ひ出
仲川 浩庸

ふわふわと餅月が舞う 高原に
鼻にピアスの 牛たくましく
織田 貴子

寒き日に 生れ故郷の満州に
思いを馳せて 水餃子作る
中島 君江

俳句 (2025年3月号)

那須文芸

草や木の遅き目覚めや春立ちぬ
辛夷咲き大地漲る農始め
一本の辛夷が告げる郷の景
立春の風吹き抜ける雑木山
廃校に歴史ありけり花辛夷
待つという楽しみもあり春隣
咲くだけの光あつめて犬ふぐり
散歩より戻りし総身野焼の香
蠟梅の匂ふ隣家のうすあかり
節分の鬼におわれて孫のべそ
立春の陽射しに大地うごめけり
湯たんぽを猫と分かちて夢に落つ
寄鍋に満州仕込みの水餃子
蛙焼の煙をのこし鳶の笛
野焼後の蛙に焦げたる鎌ひとつ
蛙焼の風に気を揉む消防車
遠野火やどの田もやがて遊水池
地面からごあいさつです路の臺
強風に揺られて咲きし立葵

五月女加代子
渡辺 愛子
益子 美都里
松本 和子
杉浦 公子
松浦 秀文
中島 慶子
鈴木 文代
小森 静江
高崎 和子
須藤 さよ子
丹野 セツ
中島 君江
平岡 丈子
岡部 慶子
仲川 光風
三瓶 眞弘
津田 イツ子
藤田 繁

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載に
なりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 3月19日(水)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
企画政策課広報聴係 ☎72-6935

表紙の話

那須街道アカマツ林再生へ
(高久小)

今回は高久小6年生の那須街道アカマツ林再生プロ
ジェクトの様子を表紙に選びました。

全長15センチほどの苗を丁寧に植樹する様子が印象
的で、最初は慣れない手つきでの作業が、約100株の植
樹が終わる頃には大人顔負けの腕前となっていました。